

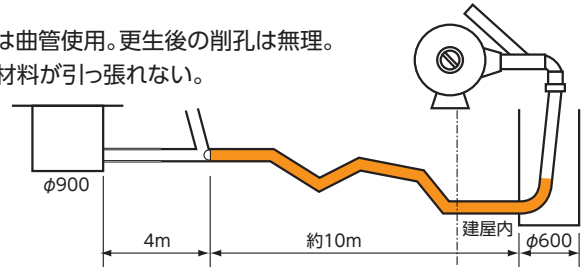
4 取付管ライニング … 途中までのライニング

状況

管路の途中に不明な取り付けが接続されており、下流部は曲管使用。更生後の削孔は無理。反転で下流人孔から施工を行った場合、位置合わせ時に材料が引っ張れない。

対策

不明取り付けを塞がないようにするため、引き込み式で作成した材料を上流側より引き込む。カメラで確認しながら注意深く位置合わせをし、拡径・硬化を行う。



曲管部分の破損部

破 損 部 分

最 終 端 部

施工前



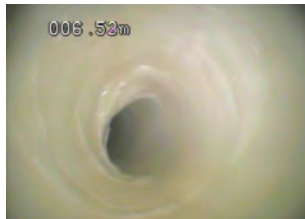
施工前



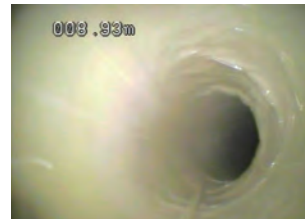
施工前



施工後



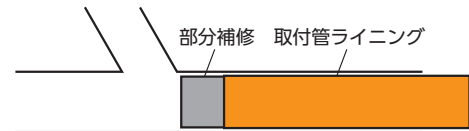
施工後



施工後



注意! 最終端部の処理については、部分補修(本管補修)で押さえる必要があります。この場合、不明取付管口より20cmぐらい手前で更生を完了させ、端部処理として部分補修をするべきです。

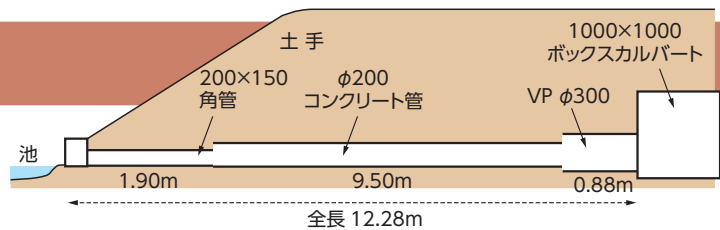


5 取付管ライニング 溜池の底樋管の更生工事(角管も含む)

状況

φ200 自立管材料(t=5.5mm)にて角管部とコンクリート管部を更生 L=12m

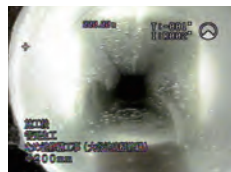
- * 角管部の材料しわについては、事前に了解済み
- * 引き込み材料にて施工
- * 硬化装置は池側より挿入した



角管部 施工前



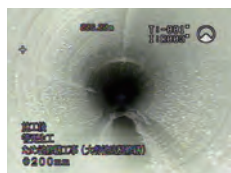
角管部 更生後



施工前



施工後



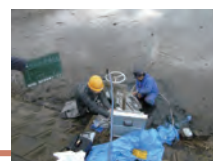
樋管口
ゲート



樋管口
ゲート内



池側
施工状況



ボックスカルバート側

開口部



到達側
光硬化状況



到達側
施工状況

